

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はれれあ			
○保護者評価実施期間	2026年5月10日 ～ 2026年5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2026年5月10日 ～ 2026年6月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手厚い職員配置を行い、利用児一人一人に寄り添った支援を行っている。	利用児2人に対し職員1人を基準に配置している。 毎日朝夕の申し送りを行い情報共有、連携を図っている。 出勤していない職員のために引継ぎノートを作成しており、全員で共有できる体制を整えている。	職員一人一人のスキルアップを図り同じレベルの支援ができるようにしていく。 外部研修へ積極的に参加。（有料の研修には事業所が補助）
2	定期的に全職員でミーティングを開催。 利用児の支援会議、日々の支援方法の課題、活動プログラム、各種マニュアルの点検見直し、研修訓練等課題を決めて行っている。	議題毎に担当を決め、なるべく全員が意識を持ってミーティングに参加し発言することができる体制を整えている。	意見や提案のしやすい、コミュニケーションを密にとれる風通しの良い職場を作っていく。 全員がマニュアルや方針等を理解することができるよう繰り返し点検や研修訓練を実施する。
3	保育所等訪問支援の実施、相談支援事業所、医療、行政との積極的な情報共有を行っている。	保護者の同意を得た上で関係機関と連携を図り、より良い支援へ繋げている。	当事業所からの会議の呼びかけを行う。保育所等訪問支援の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員内で支援の差が出てしまう。	経験、資格など様々な職員がいるが、統一した支援を行うことができていない場合がある。	当事業所の理念や運営方針の把握。 職員間のコミュニケーション能力の向上。 事業所内で事例検討会やロープレを実施。
2	他の幼稚園や地域との交流の機会が少ない。	併行通園の利用児が多いこと、公園で近隣の保育園や地域の方との交流が少しあるため現在機会は設けていない。	防災訓練で福祉避難所へ訪問し訓練を実施。 必要があれば自治会や地域の方と連携していきたい。 SNS等を活用し、外部への情報発信。
3	BCP・各種マニュアルを策定して職員間では研修訓練を行っているが、保護者への周知徹底はできていない。	研修訓練を行った場合は連絡ノートへ記載している。マニュアルは玄関に掲示している。	今まで以上に活動記録の写真や報告書を保護者へ公表していきたい。 保育参加時に保護者と一緒に訓練体験してもらう。